

～ AI社会を支える重要インフラ～
データセンター業界最大級のイベント

DCJAPAN DATA CENTER JAPAN



～AI社会を支える重要インフラ～データセンター業界最大級のイベントData Center Japan 2026が、2026年3月24日(火)～3月25日(水)に東京都港区海岸1-7-1東京ポートシティ竹芝にある東京都立産業貿易センター浜松町館にて開催された。

一般展示は10時～17時、またカンファレンスは10:10～16:45であった。なお、アーカイブ配信は4月6日(月)～4月30日(木)まで行なわれた。

主催:特定非営利活動法人日本データセンター協会

共催:株式会社ナノオプト・メディア

後援団体:デジタル庁/総務省/経済産業省/東京都/独立行政法人情報処理推進機構(IPA)/国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)/一般財団法人インターネット協会/一般社団法人建築設備技術者協会/一般社団法人ソフトウェア協会/一般社団法人JPCERT コーディネーションセンター/一般社団法人情報サービス産業協会/一般社団法人電気通信事業

者協会/一般社団法人電子情報技術産業協会/一般社団法人日本インターネットプロバイダー協会/一般社団法人日本建築士事務所協会連合会/一般社団法人日本設備設計事務所協会連合会/一般社団法人日本クラウド産業協会/一般社団法人日本クラウドセキュリティアライアンス/一般社団法人日本経済団体連合会/一般社団法人日本シーサート協議会/一般社団法人日本情報システム・ユーザー協会/一般財団法人全国地域情報化推進協会/特定非営利活動法人日本ネットワークセキュリティ協会/JADOG (JAPAN Datacenter Operators' Group)/データセンタークロスアライアンス/北海道ニューピアデータセンター研究会
開催実績:Data Center Japan 2025 -日本データセンター協会15周年記念イベント-

来場者数:3月24日(天候=晴れ) 4,411名(2025年度開催2,883名)/3月25日(天候=曇りのち雨) 4,266名(2025年度開催 2,609名)

川崎重工業(株)

<https://www.khi.co.jp/>

DCJAPAN

川崎重工業(株)は船舶・鉄道車両・航空機・モーターサイクル・ガスタービン・ガスエンジン・産業プラント・油圧機器・ロボットなどの多彩な事業を展開する総合エンジニアリングメーカーであるが、同展ではDC向として非常用発電設備(カワサキPUシリーズ)を紹介。

非常用発電設備(カワサキPUシリーズ)は停電や災害など万一の非常時のバックアップ電源の一種である非常用ガスタービン発電設備。非常用ガスタービン発電設備「カワサキPUシリーズ」は、出力150kWから4,800kWまで全20機種をシリーズ化。屋上設置も屋内設置も可能で運転・メンテナンスが容易な非常用発電設備として強い支持を得て、既に8,590台をという国内シェアNo.1の実績を持つ。

標準構成装置:カワサキ非常用ガスタービン発電設備は、発電機とガスタービンを一つの共通台板上にセットした発電装置と、自動始動発電機盤、ガスタービン始動装置、排気消音器、燃料小出槽、および給換気設備などの各装置から構成されている。

■PU2000の屋内設置構成例

1. 発電装置

発電機、ガスタービンおよびこれに付帯する機器を共通台板上にセットしたもので、防音パッケージで覆っている。

2. 自動始動発電機盤

発電機盤とガスタービン制御盤を組み合わせた装置で、発電装置搭載形と別置形の2種類がある。(搭載形はPU200～250Sで、低圧の場合のみ)

3. ガスタービン始動装置

電気式を標準としている。電気式は蓄電池と充電器によって構成。

4. 排気消音器

発電装置には、排気消音器を用意。

5. 燃料小出槽:490リットル、950リットル、1,950リットルを標準として用意。

6. 給気設備(屋内設置の場合)

運転に必要な空気を供給する設備で、給気ファン、給気消音器などで構成。

7. 換気設備(屋内設置の場合)

主に発電装置内の放熱空気を屋外へ排風する設備で、換気ファン、換気消音器などで構成。



■カワサキPUシリーズの特徴

1. 自社開発の高性能・ローコストガスタービン

心臓部に採用している自社開発ガスタービンの性能は、世界的にもトップレベルであり、発電機駆動源として最適な1軸式で、合理的に設計・製作しています。

純国産化したローコストガスタービンは、部品供給やサービス面においても十分な体制が整っています。

2. 自己空冷式のため、冷却水が不要

自己空冷式のため冷却水は不要です。従って、冷却水の保守管理が不要で、凍結や断水による事故の発生もありません。冷却水を必要とするディーゼルエンジンに比べて、それだけ設備の信頼性が高まります。また、冷却水設備や配管の工事費を節約でき、設置場所も自由に選べます。

3. 発生音が高周波のため、騒音対策が容易
発生音の主体が遮断しやすい高周波のため、簡単なパッケージだけで機側騒音を抑えることができ、また消音器の使用によって、排気音も容易に低減させることができます。

低周波を主成分とするディーゼルエンジンの騒音対策にくらべて容易に低騒音化をはかることができ、敷地境界線上の厳しい騒音規制値がある場合でも、十分な対応が可能です。

4. きわめて小さな振動と、優れた耐震性能
往復運動部分のない回転運動機関のため、振動がほとんどありません。このため、据付に際しても、特別な基礎工事や防振工事が不要です。また、ディーゼルエンジンのように振動対策として防振ゴム、スプリングなどの弾性支持方式をほとんど必要としないため、地震波のような低周波の振動と共振現象をおこすことが少なく、耐震性能も優れています。

2011年3月11日に発生した東日本大震災においても定期点検を実施した発電装置は100% (1,034台)の稼働率を發揮し停電中も順調に電力を供給しました。

耐震性に優れたカワサキガスタービンは大震災にも真価を發揮し様々なインフラへの電力安定供給を行えます。

5. 始動信頼性が高く、迅速に起動**屋上設置例**

納入先業種：オフィスビル
機種：PU200
納入年月：2012年12月
出力：187.5kVA

単筒缶形燃焼器を備えた二重噴射ノズルによる連続燃焼方式ですから、ディーゼルエンジンのような始動時の着火ミスがほとんどありません。しかも冷却水設備がないため、始動前の点検アイテムが少なく、迅速・確実に起動し、暖機運転なしですみやかに負荷を投入できます。

6. 月に1回程度の確認運転で、いつでも始動
ディーゼルエンジンのようにピストン、シリンダといった往復摺動部分がないため、部品の摩擦がありません。しかも部品点数が少ないため、日常のわずかな点検で、高い始動信頼性を維持できます。また、確認運転は1カ月に1回程度で十分です。

7. 1軸式だから得られる安定した周波数特性

発電機駆動源としては最適な1軸式です。速度の変動が少なく、ディーゼルエンジンではもちろんのこと、2軸式ガスタービンでも得られない良好な定常時および全負荷投入遮断時の周波数変動率が得られます。

8. 高速回転が生み出す、余裕の瞬時過負荷耐量

主軸は、18,260～53,000min⁻¹とい

う高速回転をしています。この回転速度を1,500または1,800min⁻¹に減速するため、等価慣性モーメントが非常に大きくなり、大容量誘導電動機などを始動する際にかかる瞬間的な過負荷も容易に吸収できます。同クラスのディーゼル発電設備にくらべ、はるかに大きな瞬時過負荷耐量をもっており、とくに瞬時過負荷がかかりやすい非常用設備の場合、ガスタービンならではの真価を發揮します。

9. 省スペース化と容易な運搬・据付を実現
同クラスのディーゼルエンジンと比較すると、重量で約1/4、体積では約1/7と、驚くほど軽量で小形なガスタービン。パッケージもコンパクトで、屋上、地下室などの狭い場所への運搬、据付が容易です。しかも冷却水設備が不要のため設置面積も小さくすみ、スペースの有効利用がはかれます。

10. きれいな排気で、環境保全対策にも貢献
硫黄分の少ない灯油や軽油などの燃料を使用でき、完全燃焼しますので、排出される気体中にSOx (硫黄酸化物)やNOx (窒素酸化物)などの有害物質がきわめて少ない"きれいな排気"を実現します。

**屋内設置例**

納入先業種：LNG基地
機種：PU6000×2台
納入年月：2012年5月
出力：6,000kVA×2

**屋内設置例**

納入先業種：水処理施設
機種：PU2500×2台
納入年月：2000年1月/2000年11月
出力：2,500kVA×2

**屋外設置例**

納入先業種：工場 (電機)
機種：PU4000
納入年月：2000年4月
出力：4,000kVA

**屋外設置例**

納入先業種：データセンター
機種：PU3500×5台
納入年月：2009年3月
出力：3,500kVA×5

新型サーバーラック「AIRシリーズ」を初出展したほか、樹脂製ブランクパネル「EZIブランク」シリーズを紹介し、高負荷サー



バー搭載を想定したデータセンター向けの最適なソリューションとして提案した。

新型サーバーラック「AIRシリーズ」:開口率 84.3% のハニカムパンチングメタルを採用した前後ドアは、従来ラックを大きく上回る排熱性能を発揮。高負荷GPUサーバーの安定稼働に貢献。高密度サーバーに必須となる高重量機器の実装に対応し、最大1tの搭載荷重を確保したフレーム構造を採用。耐震性能の試験にも合格しており、データセンターの求める環境に安心して導入できる。

また、AIRラックの背面ドアには、高負荷サーバー向けの冷却効率と省スペース性を両立する「Active Rear Door Heat Exchangers (ADHxシリーズ)」を搭載。AIRラックに追加工無しで取付を実現する。実運用を想定した展示により、導入後のイメージを具体的な確認が可能。

ラックのトップには「トップヒートシャッター」の取付が可能。

ラック背面からの排熱が前面へ回り込むことを防ぎ、マシンルーム全体の空調効率を飛躍的に高める空調補助ソリューションである。

樹脂製ブランクパネル「EZIブランク」シリーズを紹介:「EZIブランク」は、19イ



ンチラックの未使用スペースを効率的に塞ぎ、ホットアイルとコールドアイルの空気混在を防止することで、機器の冷却効率を大幅に向上させるソリューション。

ツールレスで簡単に取り付けられ、1Uごとに切り離し可能な柔軟な設計により、機器実装に合わせた使いやすさを実現している。また、ブラック・ホワイトのカラー展開や、ケーブル通線がスムーズに行えるブラシ付き「EZI BRUSH」モデルなど、用途に応じたラインアップも充実。軽量かつ耐久性の高い樹脂素材を採用し、排熱対策と作業性の両立を追求した製品といえる。

ENEOSはEVやサーバを「油で冷やす」。DC向け液浸冷却液に注目。

同社では、グループ長期ビジョンに掲げた、「エネルギー・素材の安定供給」と「カーボンニュートラル社会の実現」の両立に向けて挑戦している。カーボンニュートラル社会の実現に向けた取り組みとして、2024年4月にデータセンター向けサーバー液浸冷却液「ENEOS IXシリーズ」を発売しているが、今後もその開発で培った液浸冷却技術や、長年の潤滑油製造で得た添加剤処方技術の知見を活かした商品開発を行い、提案を行っていく。

一方、米国において同社では、ラスベガスで開催された「CES 2026」(会期:2026年1月6~9日)に出展し、冷却をテーマに「液浸冷却液」や「放熱グリース」、「EV Fluid」を、取り組み事例と共に紹介した。同社商品が使われているテスラのサイバー



トラックや、データセンター向けサーバー液浸冷却液「ENEOS IXシリーズ」を使ったサーバーのモデルが複数展示され、来場者の注目を集めていた。展示はLVCC(ラスベガス・コンベンションセンター)の

ノースホールにある「VEHICLE TECH & ADVANCED MOBILITY」ゾーンで、ホール全体ではサステナビリティやエンタープライズAIなどのカテゴリが集まる。2025年はENEOS全体で出展していたが、2026年は潤滑油カンパニーでの出展となり、「油で熱を冷ます」ことで熱処理の問題を解決する、サーマルソリューションの実現に向けた商品をメインで紹介していたという。(写真下)



「SETTSU」摂津金属工業では、生成AI等に使用される水冷タイプのGPU サーバー向けとして、新製品のデータセンターラックSDRシリーズの奥行を伸ばしたサイズ(W800×H2450 (52U)×D1500mm)のラックを展示。

SDR シリーズにデルタ電子製のマニホールドやCDUの実機も搭載して紹介した。最大高さ2440mm (52U)！ハイパースケールデータセンター向け耐震型サーバーラック。水冷機器の搭載に最適！

- 最大高さ2440mm (52U)の耐震型サーバーラック
- CDU・マニホールドなどのデルタ電子製の水冷機器を組み合わせたラック構成をトータルで提案
- 一体構造で、水冷に適した奥行に変更可能(最大1800mm)
- ラックの幅寸法800mmまでラインナップ
- 耐震荷重は1500kgの高強度を実現
- 前後ドアの放熱穴の開口率が約83%に増加
- 外装板は、多種から選択可能
- 有効高さが高い機種は、単位床面積あたりでサーバー等をより多く実装可能

- ハイパースケールデータセンター向け
- ウィスカ対策品に変更可能

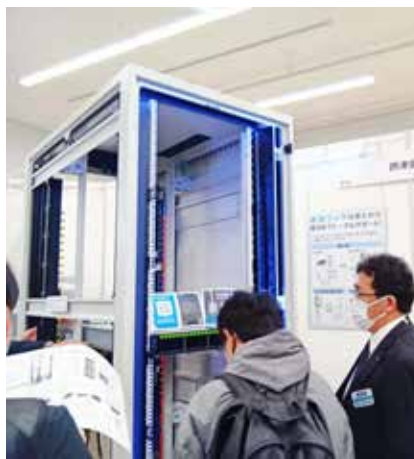


ドアハンドル

- エルゴノミックデザイン採用のドアハンドル
- 人間工学に基づいた、持ちやすさや指へのフィット感を追求したデザ

イン

- 個別キー仕様やマスターキー仕様への変更が可能



TEL : 06-6992-2331

Email : eigyou@settsu.co.jp

URL : <https://www.settsu.co.jp/>

The POS

私どもは、1990年創業、日本及び韓国で豊富な導入実績を持つサーバーラックメーカーです。本展示では、データセンター向けに最適化したLMU (Lighting Alarm & Monitoring Unit) 搭載ラックとインテリジェントPDUを紹介しました。ラック内の温度・湿度・電流・電圧・電力量をリアルタイム計測し、前面LMUに統合表示し



きい値設定により青→黄→赤で段階的にアラート発報を行います。SNMP / Modbus 対応でZabbix等の監視基盤と連携可能。単相および3相(スター/デルタ)電源に対応し、高信頼な電源監視と運用効率向上を実現します。

URL : <https://jp.pos-rack.com/>

Quantum Corporation/ ヒビノグラフィックス



Quantum / ヒビノグラフィックスは、テープストレージ「Scalar Tape Libraries」を中心に、長期データ保管とランサムウェア対策を両立するデータ保護ソリューションを紹介。テープアーカイブにより、保管中の電力消費を抑えながら、物理エア

ギャップによるオフライン保護を実現。電力コスト削減とセキュリティ強化を同時に実現する新しいアーカイブ基盤を提案した。

URL : <https://hgx.co.jp>

ニッタン <https://www.nittan.com/>

屋内位置情報システム「B Catch Now」はビーコン、スマートフォン、クラウドを使用して建物内の人、物の場所や火災時の火災の場所、設備等の異常などをPC やスマートフォンでリアルタイムに確認できるサービスです。

「連絡したい相手が施設内のどの辺りにいるのかいつでも確認」をはじめ、「予約された会議室が使用されているか確認」や「スタッフのエリア動線や滞在時間を収集・分析」といった問題を解決します。

そのため、災害時等の初動対応を支援します。

火勢抑制フロアは、ガソリンによる火災の危険性を低減する為の防災機材で、散布されたガソリンを床下の閉じ込め、燃焼量を大幅に削減し火災の勢いを抑制します。

超高感度環境監視システムは、空調換気を多数行っているサーバーールームなどで、空気中に含まれる微量の煙粒子を検知することが可能な警報システムです。



●火災状況の把握
火災発生場所の通知
従業員の所在地
防災センターへの状況報告

災害時のコミュニケーション
●火災の初期対応
消火器・消火栓の位置表示

非常口の表示
避難遅れの確認
●避難状況の確認
消防隊への情報提供

位置情報の活用

現在地の情報で業務効率の向上

- 現在地をリアルタイムに確認
- 自動記録されるログデータの活用
- 日常業務の見える化

非常時の防災機能

施設の異常通知で初動対応を支援

- 火災エリアの把握
- 設備異常を通知して表示

三菱電機 <https://www.mitsubishielectric.co.jp/ja/>



三菱電機は、データセンターの運用・管理を支える総合ソリューションを提供します。

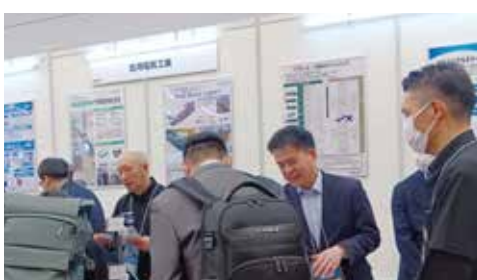
監視システム、空調、UPS、受配電などのインフラから、省エネ・高効率な設備設計、セキュリティ・可用性向上まで一貫してサポート。最新の技術と豊富な実績を活かし、信頼性とコスト効率を両立した最適なデータセンター構築を実現します。



古河電気工業 <https://www.furukawa.co.jp/>

同社は光ファイバケーブルや光デバイス、光パネルなど様々な製品でデータセンタの構築から運用までを幅広く支援している。

今回はこれらの製品を展示すると共に、カンファレンスでは高機能樹脂製品を活用した省人化と工程効率化を図る施工の考え方と解決のヒントを紹介。



マサル工業(株) <https://masarukk.co.jp/>

“オリジナル商品の開発・自社工場での一貫生産・全国ネットワークでの販売。”これが創業以来、変わらぬマサルのコトバです。この総合力で、通信・電設・農業資材分野のよきパートナーとして、いつの時代もお客様の信頼を勝ち得てきました。

これからも、企画力と製造技術を磨きあげつつ、他社の追随を許さぬスピードで新しい時代のニーズにマッチした商品を生みだし、人と社会に貢献し続ける企業でありたい。

そのために、私たちは機能します。

データセンターの重要度は日々高まり、社会インフラとしての役割はさらに重要です。その中で、配線インフラの整備は、安定稼働と信頼性確保に不可欠な要素です。今回の展示では、トレー型合成樹脂製ダクト「オープンダクト」を展示。信頼性の高い高速通信を実現する配線インフラをサポート。国内生産による短納期対応で、迅速な導入を可能に。多数のデータセンターで採用されてきた実績と信頼性。データセンターの運用において、配線インフラの重要性は

広く認識され、効率的なケーブルマネジメントと冷却性能の最適化が求められています。製品や導入事例などを紹介した。

TEL :0120-340-350

Email :info@masarukk.co.jp

URL :<https://masarukk.co.jp/>



NTT-ME/NTT グローバルデータセンター・ジャパン/NTT スマートコネクト/NTT データ

NTT-ME

NTT-ME のデータセンター関連サービスをご紹介します。・JPDC AI Container NTT 東日本グループのコンテナ型データセンター。・JPDC Cabling データセンター間光ファイバー接続サービス。・JPDC All-Photonics Connect powered by IOWN All-Photonics Network 技術を取り入れたデータセンター間ネットワークサービス。・JPDC Cabling Custom Made ご要望ルートによるお客さま専用のデータセンター間光ファイバー。・JPDC Housing データセンターハウジングサービス
URL :<https://jp-dc.com/>

NTT グローバルデータセンター・ジャパン

NTT Global Data Centers (NTT GDC)は、世界20か国以上でデータセンターを展開し、グローバルに統一された高品質インフラを提供しています。ハイパースケールを中心に多様なIT戦略に対応し、AIワークロードなど幅広いニーズへ応え、持続可能性と高信頼性を両立した次世代データセンターを構築しています。日本では2月に第一号拠点となる「京阪奈OSK11 データセンター」を開設しました。本イベントでは最新ロードマップと「AI データセンターは日本で成立するのか」をテーマに、次世代インフラの要件や市場動向を紹介。

Email :gdc-pmkj@ntt.com

URL :<https://services.global.ntt/en-us/services-and-products/global-data-centers>

NTT スマートコネクト

NTT スマートコネクトは西日本最大のIX 拠点である堂島を中心に大阪、福岡でデータセンターを運営しております。当社データセンターの特徴は 1. アクセスの良さ : 当社のデータセンターは、大阪/福岡中心部にあり、最寄り駅から徒歩圏内とアクセス性が抜群です 2. 低価格・高品質な相互接続環境 : 通信ケーブル専用の地下トンネル(とう道)を利用した、当社データセンター間接続サービスにより、低価格かつ高品質な事業者間接続が可能です 3. 柔軟なりもトハンド: 専門スタッフが24/365でお客様の運用をサポート。
TEL :06-6147-5192

Email :info@mcnet.ad.jp

URL :<https://www.nttsmc.com/>

NTT データ

本展示では、スマートファクトリーやAI活用を実装するためのインフラと技術検証環境を紹介しました。高性能GPU・液冷に対応し、短納期・省スペースで導入可能なコンテナ型データセンターにより、低遅延かつセキュアなデータ処理を実現します。あわせて、次世代冷却技術を検証できる「Data Center Trial Field」を通じ、AI・HPC時代のデータセンターにおける冷却・省エネ・運用課題への具体的なアプローチと、企業連携による技術検証の取り組みを提案した。

Email :facility_consulting@kits.nttdata.co.jp

URL :<https://www.nttdata.com/jp/ja/>